

平成 26 年度工学教育支援センター創造工房の事業報告

創造工房 久田英樹

1. 九州地区総合技術研究会 in 長崎の開催

日時：平成 26 年 3 月 19 日～20 日

場所：長崎大学文教キャンパス

- ・工学研究科教育研究支援部が中心となり医学部技術職員組織および産学連携本部技術職員と協力し、長崎大学の主催として開催した。
- ・創造工房職員は、その一員として開催における要所を担った。

2. 企業技術研修会の受け入れ

日時：平成 26 年 5 月 19 日～20 日、26 日、12 月 10 日～11 日の 5 日間、

場所：工学教育支援センター創造工房

- ・設計を主に行う県内企業（受講者 16 名）の 1 テーマ（機械加工実習）を受け入れた。
- ・今回で、3 年目となるこの地域貢献は、創造工房職員の技術を供与することと自らの技術を高めることに有効であり、地域企業との密接な連携と創造工房職員のスキルアップに繋がった。

3. 技能検定受験（普通旋盤 1 級 2 名、フライス盤 2 級 1 名）

日時：平成 26 年 7 月 26 日

場所：長崎県職業能力開発協会および長崎県ポリテクセンター

- ・長崎県ポリテクセンターで行われる機械加工における技術習得の講習会（7 月 5 日、6 日、12 日、13 日の 4 日間）を受講し、またさらに 2 か月間の自己研鑽を行い、技術を磨いた。
- ・7 月 26 日に技能検定試験を受験して 3 名が合格し、11 月 28 日に技能士会式典で合格証書を受け取った。

4. 第 8 回生産技術室研修会

日時：平成 26 年 9 月 16 日～19 日、9 月 24 日～9 月 26 日の 7 日間

場所：工学教育支援センター創造工房

- ・創造工房にある設備の利用方法講習や機械加工の技術のスキルアップを目的とした研修会を開いた。
- ・新しく入った技術職員に旋盤作業、フライス盤作業、ボール盤作業等を指導した。

5. 精密加工技術セミナー

日時：平成 26 年 10 月 8 日（水）

場所：長崎県工業技術センター

- ・「機械加工におけるツールホルダの重要性（日建工作所）」、「OKK 5 軸機の紹介（大阪機工株式会社）」、「マシニングセンタによる加工デモ（工業技術センター）」の技術研修を受講した。
- ・芯振れおよび防振対策や実機において加工原点の出し方や日研のホルダを装着した加工デモを見せて頂き、この研修で精密加工技術がいかに重要かを理解することが出来た。

6. 医工連携ハイブリット医療人「絆」カンファレンス

日時：平成 26 年 5 月 1 日, 5 月 22 日, 6 月 12 日, 7 月 24 日, 9 月 25 日, 10 月 3 日(ライフイノベーション), 10 月 16 日, 1 月 8 日の 8 日間

場所：長崎大学医学部附属病院

- ・医学部附属病院と工学研究科の医工連携のものづくりの分野で, 創造工房から 2 名の職員が会議に出席した。
- ・カンファレンスに参加し, 医療器具の開発(腹腔鏡術中洗浄装置, バイオリアクター, 肺パッドなど)業務に携わった。

7. 医工食連携研究会(長崎県産業振興財団)

日時：平成 26 年 11 月 10 日, 11 月 27 日

場所：長崎大学総合教育研究棟

- ・医工食連携研究会の分科会における試作などのものでづくり関連の一員として 1 名が参加した。

8. 第 12 回 3 大学学生ものづくり・アイデア展 in 長崎

日時：平成 26 年 12 月 6 日

場所：長崎大学総合教育研究棟

- ・富山大学, 新潟大学, 長崎大学の 3 大学で共催する第 12 回 3 大学学生ものづくり・アイデア展 in 長崎にて, 運営や長崎大学から出展の学生ものづくりの支援をした。
- ・3 大学技術職員連携会議を開催し, 今後, より密な連携を行うことを約束した。